



2020年を迎え、1月もあっという間に過ぎました。気づけば世間では新型コロナウイルスの話題が持ち切りで、日本での拡大も心配なところですが、私たちの身近な話題と言え、やはり、インフルエンザです。新聞などによるとあちらこちらの学校でインフルエンザによる学級閉鎖や学年閉鎖という情報もあり、すぐそこまで足を伸ばしてきている様子はありますが、おかげ様で今のところ愛の浜園の利用者の皆さんは元気に過ごしております。この冬はというと暖冬で過ごしやすかったような気がします。しかし、暖かいと思った翌日に一気に冷える日もあり、油断できません。2年ほど前には感染症が流行し、大変な時もありましたので、敏感になっている私たちがいます。活動が終わると手洗い、嗽…。というのも、利用者さんに浸透してきました。手洗いや嗽、マスク着用、消毒など、今後も基本的な事から気を付けていきたいと思ひます。春はもうすぐです。(副主任:大田)

2月行事予定表

3日(月): 体重測定・血圧測定
8日(土): 大島地区
合同研修会
13日(木): 健康診断(男性)
18日(火): 健康相談
20日(木): 健康診断(女性)
23日(日): 奄美市
まなび・福祉フェスタ
25日(火): 総合防災訓練

2月お誕生日
おめでとう
ございます!



泉 光太郎さん



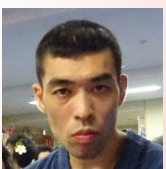
政岡 りつ子さん



中田 茂代さん



池田 ヨシエさん



光 優輔さん

懐かしい思い出

ある週末のドライブ支援で、利用者さん7名と龍郷(たつごう)方面に向かいました。車内では、音楽を聴いたり、景色を眺めたり、気持ちよさそうに居眠りしたり…。利用者さんは思い思いの過ごし方をしています。そんな中、製糖工場の前を通過しようとした時、「さとうきび、食べたーい!!」と、大きな声で叫ぶのは、助手席に座っていた平山和子さん。工場前の山積みになったさとうきびを見て、発した一声です。初めて聞いた時にはびっくりしましたが、今ではお約束の一声になっています。若い頃に食べたさとうきびの味を思い出し、また食べたいとの事でした。そんな話を聞いた私も、きび刈りやさとうきびにかぶりついた子ども時代を懐かしく思い出し、平山さんと同じ気持ちになりました。「さとうきびを食べたい…」平山さんの願いが少しでも早く叶いますように…。(記事:大田)

花見ドライブ in 崎原

1月30日(木)、花見ドライブがありました。

生活介護

今回は崎原(さきばら)方面への花見に出かけました。心配した天気も小雨程度で、花見ポイントに着いてからは、雨も上がり利用者さんの願いが届いたのかなと嬉しく思いました。桜並木までに、所々、桜が咲いていて利用者さんも職員も心躍る気持ちで桜並木を楽しみに…。バスが桜並木に差し掛かる頃に車内から「綺麗!!」と声があがりました。葉桜になっている木もありましたが、ほぼ満開の桜に車内にも笑顔と喜びが満開で、日本一早咲きの緋寒桜が奄美の春の訪れを知らせてくれていました。バスから降りて、緋寒桜の見学、写真撮影のみでしたが、利用者さんの喜ぶ姿が見れて嬉しかったです。熊本出身の私にとって緋寒桜を観る機会が少なく、利用者さんより喜んでいたのは内緒です。(笑)とても楽しい花見ドライブとなりました。(記事:岩井)



花見遠足

就労継続支援B型事業

1月25日(土) 週間天気予報では、

雨の予報でしたが、当日は晴天に恵まれて花見日和となりました。10時に出発し、春日町からのコースを取り、崎原地区の展望台から小学校までの花見を楽しむ事が出来ました。途中、車を降りて、身近に満開の桜を目にすることができました。初めて崎原地区の花見に参加した職員や利用者も満足した様子でした。見学後は、龍郷町の海沿いでブルーシートを広げ、弁当を美味しく頂き、荒波(あらば)地区を通り、秋名の桜も見学しながら帰路につきました。(記事:且)



3年合同年の祝い

1月10日(金)に子年の祝いを行いました。今年の利用者10名、職員7名と沢山の方のお祝いでした。12年に1度のお祝いという事もあり、年男・年女の方は一人一人お友達からの祝いの言葉と園からのプレゼントを貰い、感極まって涙を流す利用者もいらっしゃいました。お神酒や祝い唄の披露、塩・さきいか・昆布からなる「シュームリ(塩盛)」の振る舞いもあり、今年の皆さんの無病息災を願いました。最後に全員で六調を踊り、賑やかに祝う事が出来ました。(記事:山岡)



グループホームフレンド

今年度も赤い羽根共同募金会様よりフレンドの利用者へ配分金を頂きました。今まではデジタルカメラ、高圧洗浄機など、必要な備品を購入していましたが、今年は自治会(利用者の会)で食事会をしようという事になりました。11月30日(土)、16時半から18時半まで、場所は殆どの方が初めていかれたと思いますが、屋仁川の小料理屋さんを貸し切って、美味しい料理をお腹いっぱい食べ、カラオケを楽しみました。最初は恥ずかしがっていた利用者も曲が流れるとマイクを持ち歌い始め、すぐ次の曲をリクエストしたりと2時間があっという間で、足りないぐらいでした。普段施設のホールでのカラオケを楽しんでいますが、夜の繁華街(屋仁川)のお店でのカラオケを経験でき、楽しい時間を過ごせました。(記事:福山)



榎 文勝(てい ふみかつ)さんが、1月20日(月)永眠されました。謹んで御悔やみ申し上げます。



相談支援事業所(ていだ)



相談支援事業所の役割は、福祉サービスを利用する利用者の相談や悩みを聞き、夢や目標、ニーズ、困り事に対応する事です。決している事ばかりではありません。相談事業所という名前の通り、相談を受ける事からスタートする為、時間をかけて一緒に取り組む事から始めるのが私たちの役割です。地域で生活する利用者は、色々な利用者がいます。今回は、地域で生活する利用者の支援を通して、日々考えている事を伝えたいと思ひます。地域で一人暮らしをしている利用者があり、毎日のように連絡が朝の決まった時間にかかってくる。また、気持ちが落ち着かない時には、一日10回以上も電話があります。もちろん、私にも電話をするぐらいですから、各関係者(就労B事業所、ヘルパー事業所、社協、市役所、基幹センター)にも電話をしています。一人暮らしの不安や戸惑い等を携帯電話で連絡する事で安心感を得たり、自分の行動に自信がない為、確認をしているのかなと私は思っています。それでも社会のルールを理解できない等社会性が乏しく、地域へ迷惑をかける事もたくさんあります。地域で生活するのは難しいのでは…と話す人は少なくないと思ひます。それでも私たち支援するスタッフは、話し合いを行い、地域で生活する方法を考えサポートしています。その事によって私たちもたくさん学ばせて頂きました。周囲に迷惑をかけた事で、私たちの正しいと思われる考え方や一般的に価値観だけをその利用者に押し付け当てはめてしまう。その事で利用者が更に窮屈になり、困り事が増している事に気づかず、迷惑行為がエスカレートしてしまふ。福祉をしている人ならそんな経験あると思ひます。迷惑をかける行為は、障がい者であってもいけないことですが、注意をする感情だけが先行し、その為本人の困り事を見失い解決に繋がらない事もあります。本当に困っている事にたどり着く事は難しいですが、時間と回数をかけて取り組んでいます。支援の仕方に正解という明確な答えがあるか解りませんが、その利用者の心地よい場所やサービスは、必ずあると信じています。(記事:辻原)

三賞受賞者

(努力賞)

- ・榮 敏郎さん…生活リズムが整い、日中活動に参加することができています。
- ・橋田 忠治さん…ウォーキングを頑張っています。
- ・清正 倫太郎さん…笑顔が多くあり、自分から他の人に話し掛ける事が増えてきました。
- ・里 喜美子さん…部屋でも楽しむ趣味をもち、楽しく過ごす事ができています。
- ・平山 和子さん…正月、自宅へ外泊できませんでしたが、気持ちを切り替えて、雑巾縫いなどできる事を頑張っています。
- ・塩崎 幸子さん…体調が悪い時、元気になる為に、苦手なお薬を頑張って飲む事ができました。
- ・政 みさ子さん…職員の声掛けなどに元気に返事を返す事が多くなりました。
- ・中田 信枝さん…正月、自宅へ外泊できませんでしたが、園で楽しく過ごす事ができました。また、タンスの整理も頑張りました。
- ・竹田 美喜子さん…居室の掃除を頑張りました。
- ・生野 由子さん…就労B事業での作業を一生懸命に頑張っています。
- ・中田 茂代さん、政岡 りつ子さん…甘いジュースを控えて健康管理の為に努めています。

(奉仕賞)

- ・森山 義範さん…自分からゴミ箱のゴミをまとめて捨ててくれました。
- ・龍田 光保乃さん…食堂のテーブル拭きを頑張りました。
- ・永田 三十六さん…グループホーム周辺の落ち葉拾いを頑張っています。

(親切賞)

- ・岩越 タツヨさん…友達が朝食の卵の殻を剥けなくて困っていると、「自分が剥いてあげる」と卵の殻を剥いてくれました。
- ・里 喜美子さん…友達の食器の片づけの手伝いをしてくれました。
- ・最上 順子さん…食器の片づけ等友達の手助けをしてくれました。
- ・政岡 りつ子さん…友達の洗濯物干しを手伝ってくれています。
- ・岩切 正さん、坂井 文也さん…体調不良の利用者さんを気遣い、優しい声掛けや身回りのお手伝いをしてくれました。

1月の愛の浜園



子年合同年の祝い



花見ドライブ・遠足



介護福祉士国家試験を受験して…

私は、この3月で、愛の浜園に入職してちょうど3年を迎えます。利用者の皆さんと過ごす中で、日々勉強中の私ですが、自己啓発への取り組みとして、「介護福祉士国家資格取得」を目標に掲げ、受験資格を得る為の「介護福祉士実務者研修」を半年間受講してきました。研修では、介護の基礎から喀痰吸引実務講習など、約450時間に及ぶカリキュラムを受講し、研修修了にて、ようやく国家試験受験資格が与えられます。この期間は、研修や試験対策、仕事との両立に難しさを感じましたが、先輩方からの助言やご協力を頂けた事、職場、職種の違いはありますが、研修の中で同じ目標に向かい、知識習得に取り組む仲間と気持ちを共有し合えた事は、私にとって大きな励みとなりました。そうして迎えた1月26日(日)試験当日…「今までやってきたのだから楽しもう!」そう思いながらも、実際の試験会場の雰囲気は、多くの受験者で溢れており(今回は全国で約8万7千人の受験申込)、やはり緊張しました。今となってはその緊張感も良い経験です。今は無事試験を終える事ができ、ほっとした気持ちでいっぱいです。合格発表は3月末…、待ち遠しいですが、今回の経験で、利用者の皆さんが安心して過ごす事ができるような身体的ケアや、細やかな心のケアなど、私たちが担っている役割の重要性を再認識する事ができたと感じています。この経験を活かし、これからも利用者の皆さんの幸せの為、私たちにできる事は何かを考えながら愛の浜園で経験を積んでいきたいと思います。(記事:屋園)



フレンズ 食事会



陶芸教室

11月25日(月)、奄美市名瀬長浜町にある美容室 CHEDU の従業員の皆様が陶芸体験に来てくれました。いつも女性利用者さんのカットをしていたいただき、ありがとうございます。

